2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月６日

上場会社名　　コーア商事ホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　9273　　ＵＲＬ　https://www.koashoji-hd.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）首藤　利幸
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役　　（氏名）小松　美代子　　ＴＥＬ　045（560）6607

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	5,771	△3.0	1,113	△17.7	1,142	△14.8	777	△12.8
2026年６月期第１四半期	5,951	18.4	1,352	20.1	1,340	11.6	891	12.2

（注）包括利益　2027年６月期第１四半期　702百万円（△22.0%）　2026年６月期第１四半期　901百万円（17.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	18.46	－
2026年６月期第１四半期	21.18	－

（注）「潜在株式調整後１株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	39,082	31,125	79.6
2026年６月期	39,532	31,180	78.9

（参考）自己資本　2027年６月期第１四半期　31,125百万円　2026年６月期　31,180百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	－	0.00	－	18.00	18.00
2027年６月期	－				
2027年６月期（予想）		0.00	－	19.00	19.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,700	8.2	5,270	△3.8	5,260	△4.7	3,590	△4.2	85.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	42,119,980株	2026年６月期	42,119,980株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	1,476株	2026年６月期	1,476株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	42,118,504株	2026年６月期１Ｑ	42,118,504株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載することとしています。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（会計方針の変更に関する注記） …… 8
（四半期連結貸借対照表に関する注記） …… 9
（四半期連結損益計算書に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境に改善の動きがみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の影響によるエネルギー価格や安定供給への懸念、物価上昇の継続、金融資本市場の変動等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、為替変動は原薬等の仕入価格に影響し、円高が進んだ場合には仕入価格が下落し、円安が進んだ場合には高騰するリスクがあります。対策として、必要に応じ為替予約等を行うことや海外サプライヤーへの価格交渉、為替連動型の価格設定への切替等によりリスク回避に努めております。

医薬品業界におきましては、2026年６月より長期収載品の選定療養における自己負担額がジェネリック医薬品との価格差の２分の１へ引き上げられたほか、同年10月以降適用の新規オーソライズド・ジェネリックに対する薬価同額ルールの導入や、「G1ルール」の適用期間短縮（原則５年）など、相次ぐ制度改定が施行されました。また、医療費適正化の観点から特定の医薬品の使用を推奨する地域フォーミュラリの導入に向けた動きも活発化しており、事業環境は絶えず変化しております。

一方で、2027年度の薬価中間年改定に向けた議論においては、「国民負担軽減」とともに「イノベーション評価や医薬品の安定供給」のバランスが焦点となっております。特にジェネリック医薬品企業に対しては、安定供給体制や品質管理への取り組み姿勢を問う企業評価の重要性が一層高まっており、こうした経営環境を背景に、経営効率化や生産体制の最適化を目的とした各社による生産施設の譲渡など、業界再編の動きが加速しております。当社グループでは医薬品製造販売事業の特徴である注射剤において、ジェネリック医薬品への置換えが比較的進んでいない「高薬理活性注射剤」の製造に注力するとともに、高い企業評価に資する徹底した品質確保と安定供給体制の維持・強化に努めてまいります。

このような事業環境の中で当社グループでは、2030年をターゲットとした長期事業計画を策定し2030年のなりたい姿として、原薬販売事業は「原薬輸入商社から、医薬品専門商社へ」、医薬品製造販売事業は「注射剤を主としたジェネリック医薬品メーカーから、特長のある注射剤国内トップメーカーへ」を掲げ、取り組んでまいりました。この２つのテーマに向けた戦略を推進していくことで、長期事業計画で掲げた財務目標の実現を目指してまいります。

当連結会計年度において、原薬販売事業では、組織的アプローチにより今後新たに上市が見込まれる品目の取引量拡大への対応を進めております。医薬品製造販売事業では、医療機関からの需要が高い主力製品の安定供給に向けて、蔵王第二工場の2027年３月稼働を目指し、準備を進めております。この稼働により、医療現場からのニーズの高いプレフィルドシリンジ製剤の増産と、検討を進めている新規受託案件を獲得することで、さらなる事業拡大の実現に向けて取り組んでまいります。

このような状況の下、当第１四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,771百万円（前年同期比3.0％減）、営業利益1,113百万円（前年同期比17.7％減）、経常利益1,142百万円（前年同期比14.8％減）、法人税等の合計額364百万円を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益777百万円（前年同期比12.8％減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、「中枢神経系用薬」「その他の代謝性医薬品」等の原薬販売は増加しましたが、「循環器官用」「感覚器官用」等の原薬販売が減少し、当第１四半期連結累計期間の売上高は、3,952百万円（前年同期比2.1％減）、セグメント利益は726百万円（前年同期比13.6％減）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高264百万円を含んでおります。

医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、プレフィルドシリンジ製剤は増加しましたが、主力製品の錠剤が減少し、当第１四半期連結累計期間の売上高は2,082百万円（前年同期比6.8％減）、セグメント利益は374百万円（前年同期比31.7％減）となりました。なお、当期におきましては、コーアイセイ株式会社の蔵王第二工場が2027年３月に稼働を開始すること等から、売上及び利益が第４四半期連結会計期間に拡大する計画となっており、当第１四半期における進捗は概ね想定通りに推移しております。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

総資産は39,082百万円となり、前連結会計年度末に比べ449百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品の増加281百万円、建設仮勘定の増加262百万円、原材料及び貯蔵品の増加122百万円、仕掛品の増加41百万円等があった一方で、受取手形及び売掛金の減少573百万円、電子記録債権の減少423百万円、投資有価証券の減少65百万円等があったことによるものであります。

負債は7,957百万円となり、前連結会計年度末に比べ394百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の増加1,230百万円、支払手形及び買掛金の増加363百万円、賞与引当金の増加86百万円、電子記録債務の増加32百万円等があった一方で、設備関係未払金の減少1,294百万円、未払法人税等の減少519百万円、その他流動負債の減少199百万円、長期借入金の減少41百万円等があったことによるものであります。

純資産は31,125百万円となり、前連結会計年度末と比べ55百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益777百万円の計上による増加があった一方で、配当金支払による減少758百万円があったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.7ポイント増加し、79.6％となっております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の連結業績予想につきましては、2026年８月７日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,210,460	17,245,411
受取手形及び売掛金	3,405,345	2,831,722
電子記録債権	1,261,314	837,483
有価証券	369,619	353,138
商品及び製品	1,774,863	2,055,988
仕掛品	471,102	512,314
原材料及び貯蔵品	595,009	717,613
その他	242,151	236,398
流動資産合計	25,329,867	24,790,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,792,615	5,795,530
減価償却累計額	△2,965,290	△3,021,391
建物及び構築物（純額）	2,827,324	2,774,138
機械装置及び運搬具	4,053,696	4,059,646
減価償却累計額	△3,228,356	△3,295,572
機械装置及び運搬具（純額）	825,339	764,074
工具、器具及び備品	1,605,783	1,609,904
減価償却累計額	△1,288,177	△1,313,119
工具、器具及び備品（純額）	317,605	296,785
土地	1,806,426	1,806,426
建設仮勘定	6,588,576	6,851,111
有形固定資産合計	12,365,272	12,492,535
無形固定資産		
その他	7,622	7,072
無形固定資産合計	7,622	7,072
投資その他の資産		
投資有価証券	1,570,913	1,505,360
繰延税金資産	235,345	265,068
退職給付に係る資産	9,743	8,441
その他	13,946	14,269
投資その他の資産合計	1,829,947	1,793,138
固定資産合計	14,202,842	14,292,746
資産合計	39,532,710	39,082,817

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,291,884	1,655,572
電子記録債務	171,910	204,401
短期借入金	※ 2,080,280	※ 3,311,220
未払金	299,126	288,166
設備関係未払金	1,374,159	79,230
１年内返済予定の長期借入金	269,504	239,204
未払法人税等	896,967	377,039
賞与引当金	59,129	145,734
その他	508,528	309,472
流動負債合計	6,951,491	6,610,040
固定負債		
長期借入金	971,976	930,276
繰延税金負債	6,230	9,801
役員退職慰労引当金	170,750	160,236
退職給付に係る負債	170,160	167,657
その他	81,732	79,676
固定負債合計	1,400,849	1,347,648
負債合計	8,352,340	7,957,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,338,752	1,338,752
資本剰余金	1,022,303	1,022,303
利益剰余金	28,808,307	28,827,855
自己株式	△484	△484
株主資本合計	31,168,878	31,188,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,916	△58,499
繰延ヘッジ損益	2,574	△4,797
その他の包括利益累計額合計	11,491	△63,296
純資産合計	31,180,369	31,125,129
負債純資産合計	39,532,710	39,082,817

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	5,951,354	5,771,096
売上原価	4,028,045	4,001,529
売上総利益	1,923,309	1,769,566
販売費及び一般管理費	※ 571,228	※ 656,335
営業利益	1,352,080	1,113,230
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,288	6,220
受取手数料	2,469	－
有価証券利息	－	13,947
為替差益	－	24,189
受取補償金	240	171
その他	1,206	1,262
営業外収益合計	7,204	45,792
営業外費用		
支払利息	4,295	16,188
為替差損	14,419	－
その他	7	240
営業外費用合計	18,722	16,429
経常利益	1,340,562	1,142,593
税金等調整前四半期純利益	1,340,562	1,142,593
法人税、住民税及び事業税	427,226	357,573
法人税等調整額	21,392	7,339
法人税等合計	448,618	364,913
四半期純利益	891,943	777,680
親会社株主に帰属する四半期純利益	891,943	777,680

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	891,943	777,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,686	△67,415
繰延ヘッジ損益	3,662	△7,372
その他の包括利益合計	9,349	△74,787
四半期包括利益	901,293	702,892
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	901,293	702,892

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結貸借対照表に関する注記）

※　当社及び連結子会社は、運転資金の効率的な調達を行うために取引銀行４行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当座貸越契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
当座貸越極度額	5,000,000千円	5,000,000千円
借入実行残高	2,080,280	3,311,220
差引額	2,919,720	1,688,779

（四半期連結損益計算書に関する注記）

※　一般管理費に含まれる研究開発費の総額

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
研究開発費	30,895千円	44,399千円

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	147,785千円	148,808千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	原薬販売事業	医薬品製造販売事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,716,646	2,234,707	5,951,354	－	5,951,354
外部顧客への売上高	3,716,646	2,234,707	5,951,354	－	5,951,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	320,386	－	320,386	△320,386	－
計	4,037,033	2,234,707	6,271,741	△320,386	5,951,354
セグメント利益	840,884	548,750	1,389,634	△37,554	1,352,080

（注）１．セグメント利益の調整額△37,554千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

２．セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	原薬販売事業	医薬品製造販売事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,688,558	2,082,537	5,771,096	－	5,771,096
外部顧客への売上高	3,688,558	2,082,537	5,771,096	－	5,771,096
セグメント間の内部売上高又は振替高	264,245	－	264,245	△264,245	－
計	3,952,804	2,082,537	6,035,341	△264,245	5,771,096
セグメント利益	726,666	374,652	1,101,318	11,911	1,113,230

（注）１．セグメント利益の調整額11,911千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

２．セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。